

日時：2010年6月18日(金) 14:00～14:50

場所：東京大学山上会館大会議室（東京都文京区本郷 7-3-1）

## I. 総会成立の確認

出席者29名、委任状328名、合計357名であり、定足数を満たしていることが土田事務局長より報告された（案内時正会員数541名）。

## II. 議長と議事録署名人の選出

議長の選出方法について議場に諮ったところ、満場一致で東海明宏設立時代代表理事（以下会長とする）が議長に選出された。次いで議事録署名人として小林定喜会員、加藤順子会員を推薦する旨が東海会長から提案され、異議なく承認された。

## III. 一般社団法人設立の報告

東海会長より、2010年5月20日付けで、一般社団法人日本リスク研究学会が正式に設立され、それにもなつて、従来の任意団体である日本リスク研究学会は解散となったことが報告された。

## IV. 議事

### 1. 2009年度事業報告

東海会長より、2009年度の実業報告がなされた。

- ・会員数の増減は2009年3月31日現在の629名から2010年3月31日現在では605名となり、24名の減少となった。
  - ・事業としては、年次総会、記念シンポジウム、年次大会、若手会員ワークショップを開催し、特に若手会員ワークショップは好評で、盛会となった。
  - ・学会誌の刊行は、当初計画どおり年間4号を発行した。
  - ・表彰活動は、例年どおり学会賞、奨励賞を専攻するとともに、新設の大会発表論文賞を選考した。また大会発表論文賞の選考方法について、再検討を行った。
  - ・広報活動は、ニューズレターを年間3回発行した。また環境工学連合会講演会に講演者を推薦した。
  - ・リスクマネージャー認定委員会は、書類認定制度の確定、大阪大学のプログラムを引き継ぐ継続教育の計画等を進めた。
  - ・情報管理は、ホームページの運営、メールアドレス管理、ML更新等を行った。
  - ・法人化推進については、平成22年5月20日付けで一般社団法人日本リスク研究学会の設立を完了した。今後公益社団法人の認定に向けて引き続き作業を進める。
- 特に質疑はなく、議決の結果、拍手多数により原案どおり承認された。

### 2. 2009年度決算報告

東海会長から、2009年度決算について報告がなされた。

- ・収入は、会費収入が若干増加したことなどにより、予算を29万円ほど上回った。
  - ・支出は、種々の支出節減の効果により、予算を16万円ほど下回り、単年度収支として黒字となった。
  - ・法人化推進のための特別会計として100万円の予算を計上していたが、支出は34万円ほどですませることができた。
  - ・リスクマネージャー制度の特別会計としては、登録料収入が250万円強あったが、支出は3000円弱にとどまった。
  - ・食の部会費の委託研究費は、収入支出が同額であった。
- 特に質疑はなく、議決の結果、拍手多数により原案どおり承認された。

### 3. 役員選挙結果報告

小林定喜選挙管理委員長より、役員選挙の経過と結果について報告がなされた。

- ・選挙は葉書、HP、メールにより広報を行い、郵送投票により実施した。
- ・理事は立候補者が7名、監事は被推薦者が2名であり、いずれも定員以下であったため、信任投票を行った。
- ・投票総数が225通、投票率は41.6%であり、すべての候補者が過半数の信任票を得て信任された。

続いて東海会長より、従来の設立時理事は、法人移行に伴い、定款上はあと2年在任可能であるが、従来の学会の慣例に従い、本総会をもって任期を終了したものとすることが提案された。またこれに伴い、従来の設立時理事のうち下記の役員が今回の総会をもって退任することが報告された。

理事 東海明宏、理事 土田昭司、理事 近本一彦

さらに設立時監事である深田智久監事については、2年後の総会まで任期を有することが報告された。→質疑はなく、設立時理事の任期を本総会までとすることが承認され、次いで候補者1名ずつ議決の結果、以下の全員の役員就任がいずれも満場一致で承認された。これに対して、新役員の全員がその場で就任を承諾した。

理事 長坂俊成（重任）、理事 甲斐倫明（重任）、理事 前田恭伸（重任）、  
理事 片谷教孝（重任）、理事 関澤 純（新任）、理事 村山武彦（新任）、  
理事 久保英也（新任）、監事 近本一彦（新任）

#### 4. 一般社団法人設立に伴う財産移行の件

東海会長より、任意団体の日本リスク研究学会の財産目録の説明がなされた。

- ・金融財産合計12,178,357円、物品としてパソコン1台（2006年購入、購入時価格229,800円）、学会誌バックナンバー1,543冊ほか所蔵バックナンバーがある。
  - ・バックナンバーは一部処分の上、残部を有効活用し、金融財産と物品はそのまま一般社団法人日本リスク研究学会が引き継ぐ。
- 質疑はなく、決議の結果、拍手多数により原案どおり承認された。

#### 5. 2010年度事業計画

東海会長より、2010年度の実業計画の説明がなされた。

- ・シンポジウム、年次大会、ワークショップの開催、学会誌の刊行を2009年度と同様に行う。
- 質疑はなく、決議の結果、拍手多数により原案どおり承認された。

#### 6. 2010年度予算案

東海会長より、2010年度の実業案の説明がなされた。

- ・収入については、2009年度の任意団体日本リスク研究学会の予算をベースに、会費値上げ分を反映させて算出している。
  - ・支出についても2009年度の実績がベースであるが、経費節減に努めることにより、単年度黒字が達成可能と想定している。
- 質疑はなく、決議の結果、拍手多数により原案どおり承認された。

閉会

東海会長より閉会が宣言された。

2010年6月18日